

基礎的・基本的な学力の定着を図るための実践

【久喜市教育委員会】

1 学校、学年、教科 中学校、全学年、国語・数学

2 ねらい 生徒一人一人に基礎的・基本的な学力を身につけさせる。

3 取組内容

- 各教科での学力向上策を明確にし、共通理解を図る。(教育に関する3つの達成目標の取り組み)

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字ワークの活用 (到達度別) ・漢字テスト (小テスト：10日に1度、授業中) ・漢字検定の校内実施 (年3回)
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・計算力テスト (毎授業中の3分間) ・少人数指導の充実 (個に応じた指導) ・学び合い学習 (1学年：生徒相互)

- 夏期講座の実施 (長期休業中の学力向上策)

H〇〇年度	夏期講座実施要項
1	<p>目的 ①「教育に関する3つの達成目標」としての取り組み</p> <p>②5教科における基礎学力の向上を図る。(国・数・英に重点=3日間) (社・理に重点=1日)</p>
2	<p>期間 (各学年4日間×2H=8時間) 全学年・・・7/21～24</p>
3	<p>時間 (8：30～10：20) 1校時・・・8：30～ 9：20</p> <p>2校時・・・9：30～10：20</p>
4	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教師の協力で、夏期講座に取り組む ・授業形式での講義とし、自習形式はとらない ・生徒の講座選定については、学力テストを参考にする ・参加率については、70～80%程度を目標とする ・講座に必要なワーク等について、希望購入させてもよい
5	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座欠席の場合は、必ず事前連絡を受けておくか、当日確認の連絡をとる。生徒にとって落ち着いた講座とするため、講座のある日は、部活動開始時刻原則10：30～とする

4 成果と課題

学力向上策を明確にしたことにより、全教師の共通理解のもと組織的に指導することができた。個に応じた指導により、一人一人の生徒のつまずきを見極めながら指導できた。身につけた基礎基本を活用力の育成に結びつけることが課題である。